

# エクストリームウィンターチャレンジ信州高山大会 2016

## 優勝チームコメント

TAC\_横綱 長塚 涼さん

我々“TAC\_横綱チーム”は、昨年に引き続き優勝する事が出来ました。  
エクストレモの皆様、地元関係者の皆様、レース出場者の皆様及びTACの皆様に感謝御礼申し上げます。

チームとしては二連覇ですが、私自身は、今回のウィンターチャレンジでは最大勢力になってしまったTACの一員として

去年からエクストリームシリーズに参加しはじめたばかりです。

ウィンターチャレンジ初参加、それ故、スノーシューも人生で履いたことすらありませんでした。

そんな中、「大丈夫、だぁいじょうぶ」と言う悪魔の囁きにそそのかされて、

昨年のチャンピオンの片割れである鶴屋さんとペアを組み参戦する事になりました。

ディフェンディングチャンピオンというプレッシャーを掛けられる中

「相方ラッセル、わたし楽ちん2番手」という“あうんの呼吸”を、

もう一人の去年のチャンピオンである、土肥さん(今回は控え)から受け継ぎ、

結果、見事に鶴屋さんがいれば優勝できると証明することが出来ました。

スタート直後は、雪球をデビルにぶつけるチームチャレンジ。先行チームが走る中、我々は歩いて悠々スタート。

「デビルが疲れきったところに雪球を当てるんだ」と、

走らない(走れない)言い訳をアピールしつつ、のんびりチームチャレンジをこなし、

CP4までは身内のTACチームにも先行を許していました。

自慢の鳥頭でその存在をすっかり忘れていた頃、災いは突如として襲ってきました。

貧乏神のごとく身内チームに憑いたデビルをなすり付けられました。

相方鶴屋さんはサラッといつの間にか逃げ果せた一方、

私は逃げ遅れたうえ、ラッセル跡に足を取られ転び、MAPを飛ばし、拾いに戻るコンボを決めました。

まさに弱り目に祟り目でしたが、デビルに哀れに思われて、容赦していただいたのでしょうか、捕まらずに済みました。

ここで捕まっていたらこのコメントを書くことは無かったと思います。

その後、CP4 CP5に移動中、またデビルだ！と気がついた時すでに遅く、

二人目のデビルにひたすら追い掛け回されました。

自然に溶け込む目立たない服装のはずですが、逆に目立ったのでしょうか？不思議です。

後で聞いた話ですが、この二人のデビルは猛威を奮い、多数のチームが餌食になったようです。

2ndステージではCP8,9にて一歩二歩散歩志保リターンズ殿の姿が見えた為、

もしかしたらと言う淡い期待を抱きましたが、その後は行けども行けども姿が見えず、力の差をととも感じました。

しかし、フィジカルだけでは勝負が決まらないのがアドベンチャーレースの面白い所だと思います。

今回も時の運が強いレースでしたが、今後もっと良い勝負が出来る様に精進する意気込みです。

今年的那珂川大会にも参加予定ですが、今度こそカヤックに乗りたいと思います。

アドベンチャーレース好き、アウトドア好き、様々な方がいると思いますが、

今後とも地域貢献も合わせて出来るよう、盛り上げていきましょう。